

カクセはら梨園

原 勇太さんをご紹介します



お住まい : 八千代市

就農した年 : 2025年3月
(第三者継承)

栽培面積 : 50a (2026年産より50a追加予定)

栽培品目 : 日本なし (幸水、豊水、かおり、あきづき、新高、新興)

販路 : 直売、道の駅、大手スーパー

就農したきっかけ

・サラリーマンの頃から農業に就きたい思いがあり、住居のある八千代市周辺で就農地を探していたところ、梨の後継者不足の話を聞き、引き継いでいきたいと考え、第三者継承により新規就農した。

就農時の苦勞

・果樹の生産技術の習得は、関係機関等による研修の機会が少ないことから、自分で研修先の農家を探し、実地で学んだ。

第三者継承について

①良かったこと

・農地整備、機械などの初期費用の負担が非常に少ない。
・成園を引き継ぐため、苗木から育てる必要がない、前園主から技術を教えてもらえる、販売先も前園主の固定客を紹介いただき、収入が得られる。

②苦勞した(している)こと

・移譲希望者がいつ見つかるか不明のため、研修しながらサラリーマンを続けた。前職を辞めるタイミングが難しい。
・棚が前園主の身長に合わせてあるため低く、作業時に身体に負担がかかる。

今後、取り組みたいこと

・減農薬栽培に向け、納豆菌を活用した防除の実証(2年間)を行い、当園のなしの価値を高めていく。

ほ場の風景(剪定中)



約80年続いた梨園を引継ぎました

ほ場の風景(花・果実)



初めて作った梨



市内スーパー、道の駅、直売所で販売しています